

第23回福岡県子育て保育のつどい

(第46回全国保育団体合同研究集会・福岡集会フシ合研)

2014年2月11日(祝)

10:30～12:00 “あそぼう！うたおう！”

13:00～15:30 記念講演

福岡市少年科学文化会館

(福岡市中央区舞鶴2-5-27)

主催：福岡県保育センター

子育て保育のつどい実行委員会

共催：第46回全国保育団体合同研究集会

福岡県実行委員会

後援：福岡県・福岡県教育委員会

福岡市・福岡市教育委員会



参加費：1,500円(一般)、1,000円(学生)

1,000円(保育センター個人会員)

託児：1人500円(1歳以上・申込必須) 会場：あいれふ

保育の予約は必ず行って下さい(1月末締め切り)

◆近くにコイン駐車場がありますが、数が十分ではありません。
できるだけ公共交通機関(地下鉄、バス、電車)をご利用ください。

☆問い合わせ先：福岡県保育センター

福岡市中央区大名1-10-25 上村ビル第二ビル506

TEL 092-761-5234 FAX 092-781-1995

URL：<http://www12.plala.or.jp/hoiku/index.html>

記念講演

「子どものまなざしが伝えるもの」

講師：**平松知子**さん

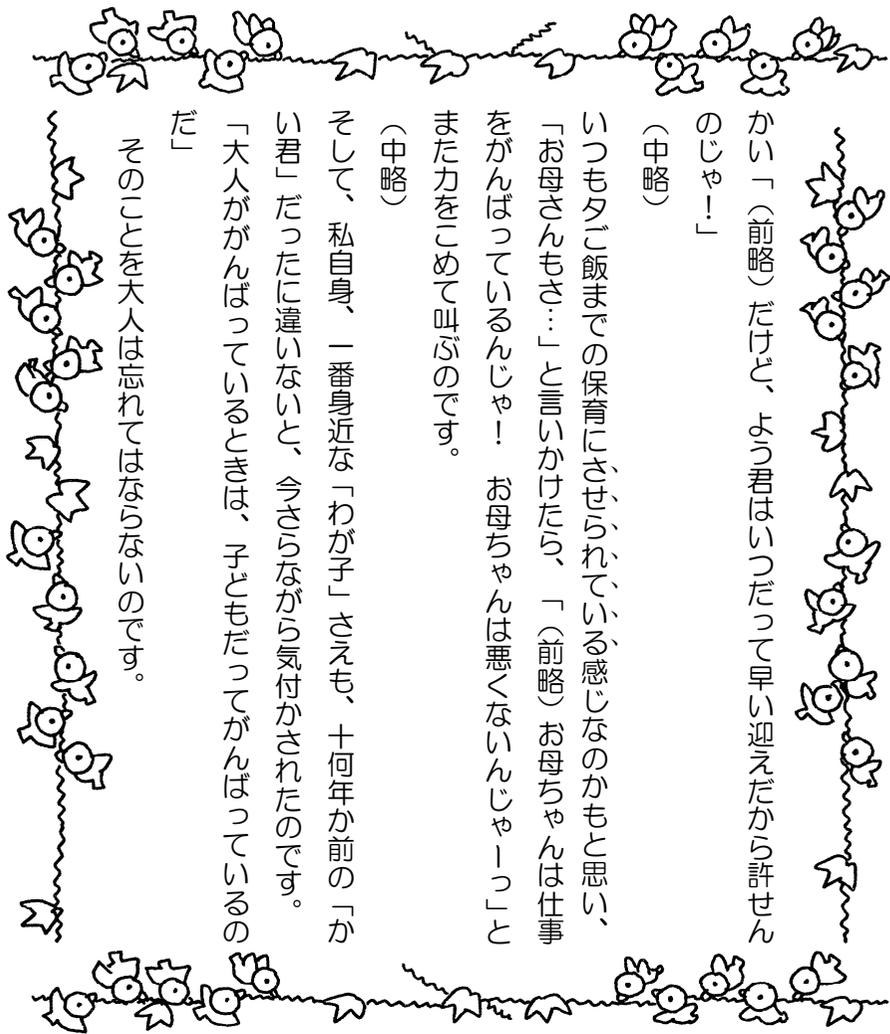
【講師プロフィール】

1961年静岡県浜松市生まれ。浜松の民間保育園で2年勤務後、名古屋市のごく保育園で就職。現在はけやきの木保育園の園長。著書に『保育は人保育は文化』『発達する保育園』(子ども編と大人編)ひとなる書房。月刊誌「ちいさいなかま」で、現在一きょうもぼっかりスイートで一にコラム執筆中。

「福岡県子育て保育のつどい」は子育てや保育・教育にかかわる多くの人たちで学習・交流を深めることを目的として毎年開催しています。今年の講師の平松知子さんは保育園園長の立場から、今大人が真剣に子どもたちに向き合うことの大切さを、様々な講演会で、暖かいメッセージを発信しておられます。

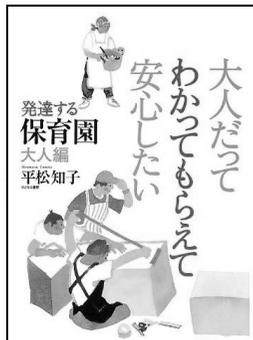
今年も、多くの方々と学習・交流を深め、「子どものまなざしが伝えるもの」を学び、意義ある23回目のつどいにしたいと思います。2014年8月2日～4日に福岡市で開催される、全国保育団体合同研究集会に向けてのプレ合研です。

午前中の「あそぼう！うたおう！」“キッキーとあそぼう”を企画しています。保育学生や保育士に遊びの楽しさを広めている木下豊彰さん(保育士)にリードしていただきながら、心を軽やかにしましょう。会場では、お役立て展示をしています。



かい「(前略)だけど、よう君はいっただって早い迎えだから許せんのじゃー!」
 (中略)
 いつもタコ飯までの保育(お世話)されている感じなのかもと思い、「お母さんもんね…」と言いかけたら、「(前略)お母ちゃんは仕事をがんばっているんじゃない! お母ちゃんは悪くないんじゃない!」とまた力をこめて叫ぶのです。
 (中略)
 そして、私自身、一番身近な「わが子」さえも、十何年前の「かい君」だったに違いないと、今さらながら気が付かされたのです。
 「大人ががんばっているときは、子どもだってがんばっているんだ」

そのことを大人は忘れてはならないのです。



大人だってわかってもらえて
 安心したい
 —発達する保育園大人編
 平松知子著 ひとなる書房



**平松知子さんの著書から抜粋してみました。
 つどいの講演でも素敵な話が聞けますよ。
 ぜひご参加ください!**

私 「かっちゃんの心の中にはいくつもの石ころが詰まっているんだね。それ、貯めたらいけないと思うよ、かっちゃん! 一個ずつ決着つけなきゃ!」
 りか 「決着って」
 私 「うーん、スッキリすることかな?」
 けんじ 「そうだよ。言わんと。口を閉じとったらいかんのだよ!」
 私 「かちゃんが自分で石ころを『プッ』って心から吐き出さないかん。(また図で描く)『やめてよー、プッ』『誰かきてよー、プッ』『ちゃんと話そう、プッ』ってね」
 この“プッ”がわかりやすかったのか、みんなにも笑顔が戻ります。
 “困ったら、友だちと保母さんね”も合い言葉になりました。

